

ajumabooksはシスターフッドの出版社です。アジュマは韓国語で中高年女性を示す美しい響きの言葉。たくさんのアジュマ(未来のアジュマも含めて!)の声を届けたいという思いではじめました。猫のマークは放浪の民ホボがサバイブするために残した記号の一つ。意味は「親切な女性が住んでいる家」です。アジュマと猫は最強の組み合わせですね。柔らかで最強な私たちの読書の時間を深められる物語を紡いでいきます。一緒にシスターフッドの世界、つくっていきましょう。

ajuma books 代表 北原みのり

咲ききれなかった花

ハルモニたちの終わらない美術の時間

イ・ギョンシン 著 / 梁澄子 訳 / 北原みのり 解説

体裁 四六 / 並製 / 312 頁
ISBN 978-4-910276-01-4 C0098
定価 2970 円 (本体 2700 円 + 税)
装丁 松田行正
書店コーナー ノンフィクション

涙なくしては読めない感動の美術の授業! 日本軍「慰安婦」被害者たちが、絵を描くことを通して自らの傷と向き合い解放されていく姿を、温かい視点で描いた本。彼女たちが描く心の叫びが聞こえてくる絵画はどのように描かれ、どのような意味があったのか。著者はハルモニたちに絵画で自己表現するきっかけを与えた美大を卒業したばかりの女性。「ナヌムの家」の門をくぐり、ハルモニたちの心の扉にノックし続け扉が少しずつ開けられていく過程を著者の絵とともに編んだ大変貴重なオールカラーの一冊。



『咲ききれなかった花 ハルモニたちの終わらない美術の時間』

ISBN978-4-910276-01-4 C0098
定価2970円 (本体2700円+税)

冊



アジュマの出版物はトランスビューの取り扱いで納品いたします。直接取引の条件は、トランスビューの商品とすべて同じ(返品随時可)です。取次ルートの場合は八木書店経由(買切・返品不可)になります。トランスビューとの取引がないお店からのご注文の際は、小社からご連絡いたします。

お客様名

ご担当者名

FAX: 0120-999-660 1冊からお気軽にご注文ください

ハルモニたちの冗談や笑いが恋しい。

私は、ハルモニたちとの美術の時間をきちんと締めくくるために、
ハルモニたちと共に過ごした時間、そしてハルモニたちが絵を描いた過程を残すことにした。

「白いキャンバスを前に過去と向き合い、長い間秘めてきた深い傷と
切実な願いを絵に注ぎ込んだ瞬間、ハルモニたちは誰よりも明るく美しく輝いた」



カンドッキョン
姜徳景 [1929-1997]

姜徳景ハルモニは美術の時間に最も情熱的に参加した。ハルモニ自身が気づいていなかった絵に対する興味と好奇心から、絵を描くことにどっぷりとはまっていた。ハルモニは、自由に空を舞う鳥に憧れていた。そのせいかハルモニの絵には鳥がたくさん登場する。日本軍を攻撃するのも、解放の知らせをもたらしてくれるのも、また平和と希望の象徴としても、鳥を描き入れた。「奪われた純情」や「責任者を処罰せよ」のようなハルモニの代表作は、日本軍性奴隷制問題の本質を描き出しており、無責任な日本政府を強く批判する絵として広く知られている。



キムスンドク
金順徳 [1921-2004]

金順徳ハルモニは美術の時間がくると必ず、自分が絵を習うなんて「牛が笑うよ」と言いながら面白がった。絵に自信がなかったハルモニは、自分の絵が気に入らない様子だったが、真面目に誠実に美術の時間に参加した。その結果、ハルモニだけのシンプルながらも純朴な雰囲気のあるラインをつくり出し、「あの時、あの場所で」「連れて行かれる」「種の供出」といった数々の絵を完成させた。その中でもハルモニの代表作「咲ききれなかった花」は、年若い頃に日本軍に連れて行かれた被害者たちを代弁する象徴となり、悲しい美しさと哀切な情緒で大きな感動を与えた。



イヨンニョ
李容女 [1926-2013]

李容女ハルモニは大胆で開朗な性格で、絵も迷うことなくダイナミックに描き上げた。観察力もあり、描く対象の特徴をつかむのが上手だった。ハルモニは絵の才能があったが、ナムムの家と息子の家を行ったり来たりしていたので、美術の時間に継続的に参加することはなかった。初期のデッサンである「自画像」と「連れて行かれる朝鮮の娘」「沐浴する娘たち」などの作品がある。



イヨンス
李容洙 [1928-]

李容洙ハルモニは大邱に住んでいたが、ソウルに来ると美術の時間に参加した。外向的で社交的なハルモニには、自身の感情を率直に表現する心象表現の授業がよく合っていた。ために絵を描くことはなかったが、最初的心象表現の授業で「私の心、星のように」「虹の赤い私の唇」「複雑な暮らし」「青春」を続けて描いて他のハルモニたちに大きな影響を与え、美術の授業を一段階アップさせることに貢献した。

著者 イ・ギョンシン 이정선

弘益大学絵画科を卒業し1993年から5年間、ナムムの家に暮らす日本軍性奴隷制被害者ハルモニとの美術の時間をとおして世代を越えた温かい友情を育んだ。内外でハルモニたちの絵の展示会を開き、日本軍性奴隷制問題を知らせることに一助した。ハルモニたちとの美術の時間をきっかけに仁荷大学美術教育大学院で精神疾患患者の美術治療の可能性について学んだ。このような経験は自ずと美術の公共的・社会的順機能に対する関心へとつながり、その後、国内移住女性たちを対象とする美術治療授業をおこなってきた。日本軍性奴隷制問題をテーマにした絵を描き、現在も画家として作品を製作し韓国、日本、ドイツなどで展示会を開いている。

翻訳者 梁澄子 ヤン・チンジャ

一般社団法人「希望のたね基金」代表理事。通訳・翻訳業。1990年から日本軍「慰安婦」問題に関わる。1993年提訴の在日朝鮮人「慰安婦」被害者宋神道さんの裁判支援をおこない、2007年にドキュメンタリー映画「オレの心は負けてない」製作。現在、日本軍「慰安婦」問題解決全国行動共同代表、戦争と女性の人権博物館日本後援会代表を兼ねる。共著書に『海を渡った朝鮮人海女』(1988年・新宿書房刊)、『朝鮮人女性が見た慰安婦問題』(1992年・三一書房刊)、『もっと知りたい慰安婦問題』(1995年・明石書店刊)、『オレの心は負けてない』(2007年・樹花舎刊)など。翻訳書に尹美香著『20年間の水曜日』(2011年・東方出版刊)。

解説 北原みのり

作家、女性のためのプレジャーグッズショップ「ラブピースクラブ」を運営する(有)アジュマ代表。本書のために2021年アジュマブックススタート。希望のたね基金理事。デジタル性暴力などの相談窓口NPO法人ぱっぷす副理事長。著書に『日本のフェミニズム』(河出書房新社刊)など多数。

「咲ききれなかった花」もくじ

日本の読者の皆さまへ
はじめに
偶然／まなざし／震える手／お試し期間
ハルモニ美術クラス／孤独な情熱／隠された傷
やまない苦痛／新たな試み／赤い唇／ひたむきにとまどい／変化／故郷／悪い手／後ろ姿
絵画謝罪事件／パンツ、はかせな
あの時、あの場所で／好奇心／供出／悪夢
ガラクタ／朴玉蓮姉さん／出会い／沐浴する娘たち

連れて行かれる／責任者を処罰せよ
絵画になった苦痛／最後の授業
鳥になった姜徳景ハルモニ
エピローグ 遅咲きの花
注釈
訳者あとがき 梁澄子
年表
出版背景にあるもの 北原みのり
巻末付録

(有)アジュマ

〒113-0033 東京都文京区本郷 7-2-2-2 TEL 03-5840-6455 [小西 order@ajuma-books.com]